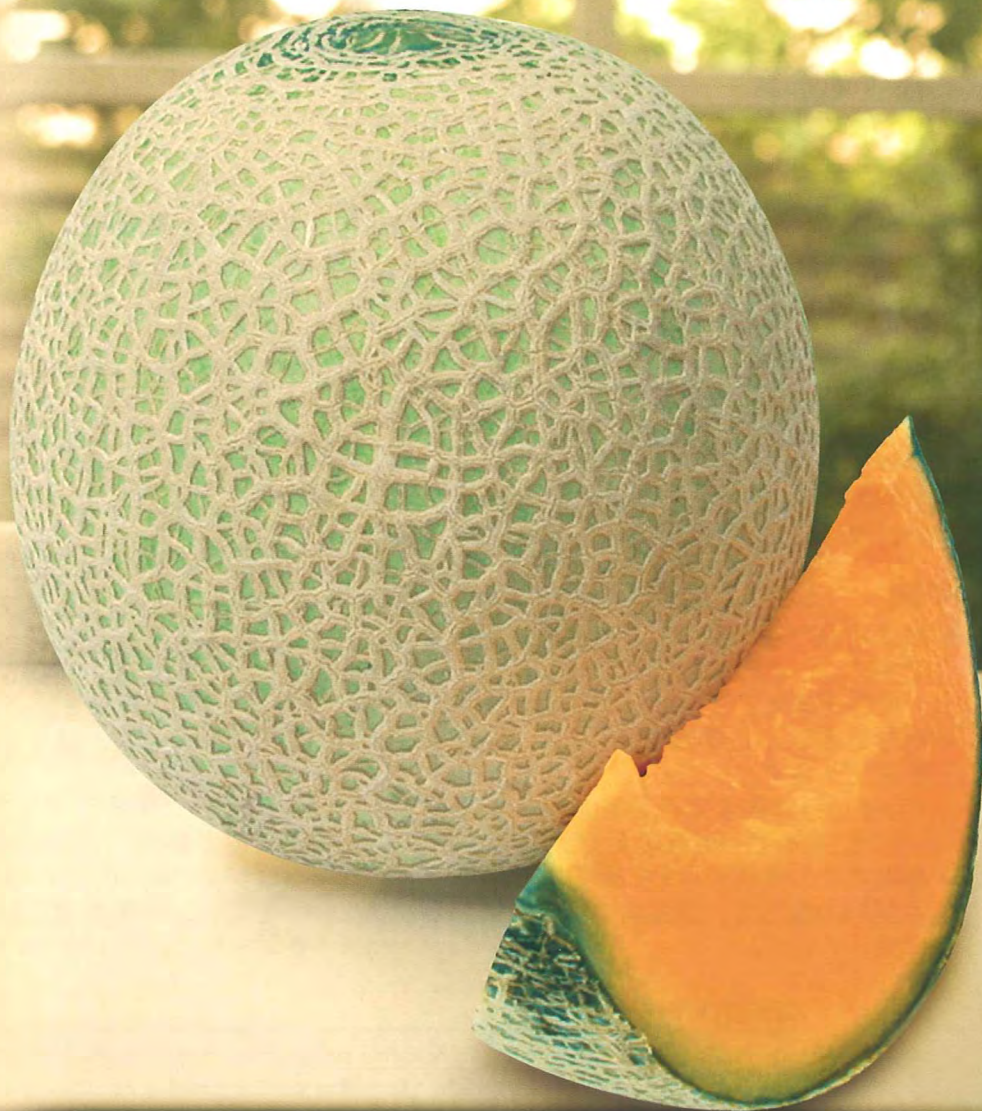


オクト交配

マ リ ア ー ジュ ユ



マリアージュ

MARIAGE

栽培の要点

驚きの品質・収量！全国から絶賛の声！！
地這栽培・立体栽培兼用品種

特 性

- 葉の大きさは中程度で色は濃い。
- 初期の草勢はややおとなしく生育中期以降はツル持ちは良い。
- ネットは、地這い系の中では高く盛り上がり、アールスに近い外観となり、立体栽培にも適する。
- 果形は腰高、果重1.2～1.6kgと玉伸び良く、糖度は16度内外に安定する。
- 果肉色は濃いサーモンピンクで低温期でも発色良く、肉質はメルティング質でカロチン臭はない。
- 成熟日数はトンネル栽培の6月収穫で53～55日前後です。



栽培のポイント

<仕立て方>

- 基本的には、地這栽培では子ヅル2本出し4果どり、3本出し3果どりも可能。
- 立体栽培では作型により親ヅル1本出し1果どり～2本出し4果どりまで可能。

<定 植>

- 肥料は、草勢がやや強めの品種であるため控え、緩効性の肥料を使用し、着果期から肥効が高くなるようにする。
- 地温は16℃以上を確保し、スムーズに活着させる。
- 定植後10日ほどは、こまめに温度管理を行い過度な低温・高温にならないようにする。

<整 枝>

- 地這栽培では、親ヅルの本葉4～5枚残して摘芯し、その後発生する子ヅルを、太さ・長さを揃えて2～3本残す。
- 着果時期は、定植後40日内外になるよう着果枝を残す。
(定植から着果まで日数をかけ、着果まで十分に根を張らせることが大切です。)
- 着果までの側枝は早めに除去する。
- 子ヅルの摘芯は、着果前に着果枝より8枚程度残して行う。

<着果・摘果・シート敷き>

- ミツバチ交配・人工交配を基本とするが、天候不良などの場合はホルモン処理も必要な時もある。
- 着果後、6～7日(タマゴ大)くらいで形と大きさが揃うように、1ヅル2果を残して摘果し、遊びヅルを2本残す。
- 摘果後果実にネットが入るまでにメロンシートを敷く。

<果実の肥大と温度管理>

- 着果後ネット発生まで、昼間35℃、夜間20℃を目安に管理し、灌水も適宜行う。
- ネット発生後、夜間は15℃を目安に管理し、灌水も控える。
- ネット完成後、灌水を適宜行う。

<収 穫>

- 収穫1週間～10日前に水切りを始め、遊びヅルの勢いが強い場合は遊びヅルの一部を切り、草勢を落ち着かせる。
- 早めに試し切りを行い、収穫日を決める。

栽培適期表(一般地)

	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ハウス	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●
大型・小型トンネル		○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○
ハウス抑制								○	●	○	●	○

○ 播種
● 定植
/// 収穫